

まちの元気グループ紹介

われら

おくいずもん

イチヨウ倶楽部

大馬木地区



新企画、栄えある第一回目はイチヨウ倶楽部さんです。

大馬木金言寺の樹齢四〇〇年を超える大イチヨウを守る会として五年前に発足し、現在会員は七十六名。樹勢の回復、周辺環境の整備を行ってまいります。

活動の甲斐あって、弱っていた大イチヨウは徐々に元気を取り戻し、平成二十二年度には「島根県景観大賞」を受賞。今年には島根県天然記念物に指定されました。黄葉期のライトアップも話題を呼び、昨秋は約一万人が来訪され、今や奥出雲町を代表する秋の行楽スポットのひとつとなっています。

それに伴い、「駐車場のスペース確保とトイレの整備が急務だ」と話されていました。これからも大イチヨウと周辺の自然環境の保護・保全を通して、地域の活性化と環境学習を推進し、「住んでよし」「訪れてよし」の地域づくりを実現したいとのことです。お話を伺い、メンバーの皆さんの地域への熱い思いを感じました。見頃は十一月初め。大イチヨウは今年も見事な黄葉の姿を見せてくれることでしょう。

「住民提案型きらり☆輝く地域づくり事業」は、町民の皆さんが自ら主体的に企画・実施する事業として、平成22年度に始まり、今年度も18団体の事業が採択になっています。事業を活用し、音楽による地域活性化に取り組む若者グループ「ラインナップ」が、一流のプロの音楽を地域の方たちにと、全国ジャズチャートで1位を記録した「ジルデコ」によるライブを開催しました。皆さんの思いも事業を活用して実現してみませんか。



表紙の写真
ジルデコ奥出雲ライブ
(カルチャープラザ仁多)

切り取り線

郵便はがき

6 9 0 8 7 9 0

579

料金受取人払郵便
松江中央局
承認
922

差出有効期間
平成27年10月
19日まで

奥出雲町横田 1037
奥出雲町議会
議会広報特別委員会 行



切り取り線

編集後記

今年には本当に暑い夏でしたが、「暑さ寒さも彼岸まで」のことわざのとおり朝夕は涼しさを通り越して肌寒く感じるようになりました。猛暑や豪雨などの異常気象は、地球温暖化の影響で年毎に悪化するような気がしています。私たちは本気で震度7に備えているでしょうか。本気で30ミリの越す豪雨に備えているでしょうか。災害に対する日頃からの備えをみんなで真剣に考えていかなければなりません。さて島根県は60歳以上の高齢者の人口10万人当りの比率で全国一位となりました。健康長寿は大変喜ばしいことであり、みんなの願いでもあります。しかし日本人の平均寿命と、介護を必要としないで暮らせる健康寿命の差は男性で約9年、女性で約12年半もあります。健康寿命を延ばすためには糖尿病対策として、肥満予防、野菜中心の食生活、運動不足解消に向けてまず一歩を踏みだしてみましよう。(うちだ いさむ)